

柱	番号	取組	指標	実績 R4	目標 R5	実績 R5	計画比 R5	目標 R6	コロナ緩和後の影響・工夫等	主な担当課	
1 に食よる 安監全 視・確 検保 査に 体向 けの 確行 保政		[目指す姿] 生産現場等において、生産に伴うリスクの低減とともに、食中毒等による健康被害、食品の規格基準違反、食品表示違反などが発生ゼロとなることを目指します。									
	(1) 生産現場等 の監視、指 導	①	農薬使用者に対する適正使用指導	指導数 (回/年)	278	270	368	136%	270	管内農家の巡回については、コロナ禍前と同様に行っているが、マスクを着用するなどの配慮を継続して実施。	農産課
		②	全畜産農家に対する動物用医薬品等の適正使用指導	指導率 (%/年)	100	100	100	100%	100	新型コロナ緩和後もマスクを着用するなどの配慮を継続して、飼養状況の点検・巡回指導を実施。	畜産課
		③	養鶏農場における高病原性鳥インフルエンザ侵入監視のためのウイルス学的検査	検査率 (%/年)	100	100	100	100%	100	新型コロナ緩和後もマスクを着用するなどの配慮を継続して、養鶏農場の検体採取・巡回指導を実施。	畜産課
		④	全水産養殖業者に対する動物用医薬品等の適正使用指導	指導率 (%/年)	100	100	100	100%	100	新型コロナ緩和後も、迅速な対応が可能である遠隔診療や、電話・メール等での指導を継続して実施。	水産課
		⑤	二枚貝類の主要養殖海域における定期的な貝毒発生状況調査	調査数 (回/年)	63	48	54	113%	48	新型コロナ対策の緩和に伴い、通常どおりに、営業する飲食店が増えたため、二枚貝類の出荷が増加し、ほぼコロナ前の状況に戻った。	水産課
		⑥	農薬販売店への立入調査	調査数 (回/年)	191	200	204	102%	200	農薬販売店への立入調査については、コロナ禍前と同様に行っているが、マスクを着用するなどの配慮を継続して実施。	農産課
		⑦	飼料等製造業者、販売業者への立入調査	調査数 (件/年)	14	13	13	100%	13	新型コロナ緩和後もマスクを着用するなどの配慮を継続して、飼料の安全性確保のため飼料業者を調査し監視・指導を実施。	畜産課
	(2) 流通段階の 監視、指 導		[目指す姿] 流通段階において、食中毒や食物アレルギーによる健康被害、食品の規格基準違反、食品表示違反などが発生ゼロとなることを目指します。								
		⑧	食品表示の巡回指導	適正表示率 (%)	97	95以上	96	101%	95以上	コロナ禍の影響もあり、インターネットを活用したオンライン販売が増加しているものの、スーパーや小売店等は、消費者が食品の現物を見て、自身で選択して購入できる代表的な場所であるため、適正な表示を維持できるよう、直近の食品表示制度改正内容や表示相談窓口を情報提供。	農政課、生活衛生課、健康対策課、消費生活安全センター
		⑨	食品表示における科学的検査	検査数 (検体/年)	40	40	40	100%	40	過去の違反事例を参考に品目を選定、検査を実施。農林水産物の原産地について、事実と異なる表示をして販売していた事例に対応した。	農政課
		⑩	新たに許可を受けた飲食店に対しテイクアウトやデリバリーを行う際に食中毒を発生させないための監視指導	指導率 (%/年)	100	100	100	100%	100	コロナ禍で、テイクアウトやデリバリーを行う施設が増加したことから、許可申請時や現地確認の際に施設への衛生管理の徹底を呼び掛けた。	生活衛生課
	⑪	食品衛生法に基づく食品等の取去検査	検査数 (検体/年)	750	750	750	100%	750	コロナ緩和後においても、引き続き職員の検温、マスク着用、手指消毒など従業員の衛生対策が定着、普及した。	生活衛生課	
	⑫	野生鳥獣肉を取り扱う食肉処理施設の監視指導	監視指導率 (%/年)	92	100	100	100%	100	コロナ緩和後においても、引き続き職員の検温、マスク着用、手指消毒など従業員の衛生対策が定着、普及した。	生活衛生課	
2 関食 連を 事取 業者 者巻 等く の 変 自 化 主 的 に 対 応 取 組 る の 食 促 進		[目指す姿] 安心・安全な食品を提供する事業者等を育成し、事業者の知識向上、食品による健康被害の防止を目指します。									
	(1) 安心・安全 な食品を提 供する事 業者等 の育成	⑬	農薬講習会の開催	参加人数 (人/年)	323	290	280	97%	290	講習会においては、定期的に会場の換気を行うなどの配慮をしながら、対面形式で実施、対面での開催により参加人数が減少した。	農産課
		⑭	農薬管理指導士の養成	延登録人数 (人)	933	920	965	105%	930	養成研修においては、定期的に会場の換気を行うなどの配慮をしながら、対面形式で実施。	農産課
		⑮	自主的な残留農薬分析の推進	検査数 (検体/年)	140	124	134	108%	124	特に影響等はなし。	農産課
		⑯	HACCPの定着に向けた指導と食品衛生責任者の研修会開催	開催数 (回/年)	34	30	25	83%	30	1回あたりの定員を増やしたが、会場入口での手指消毒用アルコールの設置や定期的に会場の換気を行うなど配慮を継続しながら実施。コロナが5類に移行したことを受け、1回あたりの参加人数を増加したことから開催数が減少した。	生活衛生課
		⑰	6次産業化に取り組む生産者向け食の安全マネジメント研修会の開催	開催数 (回/年)	4	5	5	100%	5	特に影響等はなし。	流通・ブランド戦略課
		⑱	食品関連事業者向け新たな食品表示制度の普及啓発	普及啓発数 (回/年)	6	5	6	120%	5	より多くの事業者に周知できるよう、新型コロナ緩和後もオンラインを活用することで、府内事業者の参加機会の拡大を図った。	農政課、健康対策課、生活衛生課
		⑲	きょうと 健康 おもてなし 食の健康づくり応援店	延登録店舗数 (店舗)	804	800	811	101%	800	新型コロナウイルス感染症の影響で飲食店の閉店に伴う応援店の減少があったが、一層の周知を行うことで目標を達成することができた。	健康対策課
		⑳	ボランティア向けの食の安心・安全講習会の開催	開催数 (回/年)	3	5	5	100%	5	新型コロナの緩和に伴い、ボランティア団体の活動が増えている傾向にある。防災月間にあわせてオンラインセミナーを実施し、ボランティア団体の他、一般府民や行政職員等、幅広い参加を促すことができた。	生活衛生課、健康対策課、農政課
		㉑	食物アレルギーのある児童・生徒への個別の取組プランの作成率の向上	プラン作成率 (%)	97	99	97	98%	100	実績に記載以外の様々な機会において取組プラン作成を促した。アレルギーのある生徒が毎年変わる中、新たなプラン作成に取り組んでいる。	保健体育課
	㉒	緊急時の食に関する対応研修会の開催	開催数 (回/年)	5	5	5	100%	5	新型コロナの緩和に伴い、ボランティア団体の活動が増えている傾向にある。防災月間にあわせてオンラインセミナーを実施し、ボランティア団体の他、一般府民や行政職員等、幅広い参加を促すことができた。	生活衛生課、健康対策課、農政課	

柱	番号	取組	指標	実績 R4	目標 R5	実績 R5	計画比 R5	目標 R6	コロナ緩和後の影響・工夫等	主な担当課	
2 連食に 的事業 な取組 者等 の促進 の自主 主関 連変 化	(2) 持続可能な 農業の推進	[目指す姿] 持続可能な農業に取り組む生産者等を育成し、生産者の知識向上、安心・安全な食品の安定供給を目指します。									
		㉓	特別栽培米など環境にやさしい農業の推進	面積 (h a)	2,269	2,271	2,468	109%	2,306	普及活動など対面時においては、マスクを着用するなどの配慮をしながら実 施した。	農産課
		㉔	気候変動等にも対応した安心安全な府内産農林水産物の 安定供給のための研究の実施	件数 (件/年)	7	6	6	100%	6	特に影響等はなし。 温暖化や自然災害のリスク回避に資する研究課題に取り組んだ。	流通・ブランド戦略課
		㉕	営農支援クラウドシステムによる営農指導の強化と栽培 履歴の電子化	延導入団体数 (件)	5	5	5	100%	5	特に影響等はなし。	流通・ブランド戦略課
3 た向府 正上民 確との な選食 情扱に 報力関 の向す 提上る 供に信 向頼 け感	(1) 府民と食品 関連事業者 の交流によ る相互理解 の促進	[目指す姿] 消費者、事業者、行政の交流を通じて、食の安心・安全に関する相互理解の促進を目指します。									
		㉖	食の安心・安全に関するオンライン等を活用したリスク コミュニケーション等の開催	参加者数 (人/年)	546	500	596	119%	500	施設公開等が再開され、夏休み期間に小学生の親子等から多くの参加があっ た。幅広い年代への参加を促すため、対象に応じた内容で実施する等、開催 方法や広報の工夫を行った。	農政課、関係課
		㉗	学生等によるきょうと食の安心・安全ヤングサポーター の養成	延登録者数 (人)	176	145	206	142%	150	新型コロナ対策の緩和に伴い、大学から、府職員による対面型養成研修の依 頼が増加した。 多くの大学生等に本制度を周知し、登録を促すため、府内家政系の大学に積 極的に働きかけることができた。	農政課
	(2) 府民の食に 関する学習 環境の充実	[目指す姿] 府民・食品関連事業者へ適切に情報提供し、府民の食の安心・安全に関する学習環境の充実を目指します。									
		㉘	食の府民大学の動画講座の充実・利用拡大	総動画再生数 (回)	61,811	50,000	72,562	145%	60,000	新型コロナ緩和後、対面での講習会等のイベントの開催は可能となったもの の、動画の活用は増加しており、引き続き、「食の安心・安全」等につい て、手軽に学べる環境づくりに取り組む。	農政課、関係課
		㉙	府ホームページ等において、府の施策・取組を分かりや すく紹介	更新数 (回/年)	12	12	12	100%	12	インターネットによって食に関する情報を集める人が増えている中、行政に よる正確な情報提供が重要と考え、わかりやすさを念頭に点検を行っている。	農政課、生活衛生課、 関係課
㉚	S N S 等様々な媒体を活用した適切な食情報の発信	発信数 (回/年)	24	24	24	100%	24	たくさんの情報が発信される中、行政による正確な情報を的確に発信する必 要がある。 関係課と連携し、食の安心・安全情報の他、府内の農林水畜産物の紹介等、 食に関する役立つ情報を発信した。	農政課、関係課		

R5 計画比100%以上	27	90%
R5 計画比100%未満	3	10%
計	30	100%